



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東  
 コード番号 2454 URL <http://corp.allabout.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,647	23.8	△30	—	△48	—	△68	—
27年3月期第3四半期	4,561	51.9	105	219.7	82	131.3	50	959.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △66百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 51百万円 (890.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△5.09	—
27年3月期第3四半期	3.80	3.79

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	4,275	3,493	81.3	257.96
27年3月期	4,414	3,576	80.7	264.34

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,477百万円 27年3月期 3,561百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	1.5	1.5
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	18.9	△70	－	△100	－	△140	－	△10.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	13,495,300株	27年3月期	13,486,300株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	13,566株	27年3月期	13,566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	13,478,992株	27年3月期3Q	13,423,896株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の景気対策等の効果もあり雇用環境や企業収益が改善するなど緩やかな回復基調が続いているものの、新興国経済の減速など海外経済の下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境下で当社グループは、「メディア広告&ソリューション」「トライアルマーケティング&EC」「生涯学習」「グローバル」「C to C」「ウェルネス」「クラウドソーシング」「デジタルコンテンツ」といった8つの領域を中期的な注力領域とし、それぞれの領域に対しWEBとリアル両面から最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,647百万円(前年同四半期23.8%増)、営業損失は30百万円(前年同四半期は営業利益105百万円)、経常損失は48百万円(前年同四半期は経常利益82百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益50百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

#### (マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、第1四半期連結会計期間よりファイブスターズゲーム株式会社の業績を連結損益計算書に反映させております。また、当社において新たなマネタイズ施策としてクライアント企業のオウンドメディア構築を支援する「コンテンツマーケティング」を推進してまいりました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの売上高は1,985百万円(前年同四半期比19.8%増)、セグメント利益は227百万円(前年同四半期比67.2%増)となりました。

#### (コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、主力の「サンプル百貨店」において取扱商品の拡充と会員数の拡大に注力し、売上高は前年を上回る水準で推移した一方で、会員数拡大のためにテレビCM等の積極的な広告宣伝活動を行いました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの売上高は3,693百万円(前年同四半期比26.7%増)、セグメント損失は159百万円(前年同四半期はセグメント利益22百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ383百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が65百万円、受取手形及び売掛金が42百万円、繰延税金資産が42百万円増加した一方、現金及び預金が598百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,289百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円増加いたしました。これは主にのれんが113百万円、建物(純額)が93百万円、ソフトウェアが46百万円増加した一方、差入保証金が54百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は728百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少いたしました。これは主に預り金が42百万円増加した一方で、未払消費税等が55百万円、前受金が48百万円、未払法人税等が42百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は53百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が27百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を68百万円計上したこと及び20百万円の配当実施により、利益剰余金が88百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,157,279	1,558,861
受取手形及び売掛金	847,456	889,701
商品及び製品	241,324	306,326
未成制作費	24,740	16,763
前払費用	16,422	30,749
繰延税金資産	53,977	96,538
その他	31,987	91,085
貸倒引当金	△3,535	△3,526
流動資産合計	3,369,654	2,986,499
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	43,328	112,013
減価償却累計額	△43,018	△18,392
建物(純額)	310	93,621
工具、器具及び備品	151,069	169,962
減価償却累計額	△127,601	△113,537
工具、器具及び備品(純額)	23,468	56,424
有形固定資産合計	23,778	150,045
<b>無形固定資産</b>		
のれん	454,970	568,022
ソフトウェア	226,958	273,511
ソフトウェア仮勘定	8,721	26,184
その他	2,396	2,051
無形固定資産合計	693,046	869,771
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	55,187	65,187
関係会社株式	23,353	1,895
破産更生債権等	10,765	10,765
長期前払費用	988	3,000
長期貸付金	19,870	17,870
差入保証金	186,892	131,913
繰延税金資産	14,928	22,544
その他	26,930	27,190
貸倒引当金	△10,765	△10,765
投資その他の資産合計	328,152	269,602
固定資産合計	1,044,978	1,289,419
資産合計	4,414,632	4,275,918

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	320,682	321,860
1年内返済予定の長期借入金	45,000	45,000
未払金	5,287	4,526
未払費用	199,420	227,141
未払法人税等	58,156	16,019
未払消費税等	58,326	2,540
前受金	69,135	20,144
預り金	13,950	56,314
賞与引当金	11,095	5,990
その他	30,296	29,328
流動負債合計	811,350	728,866
固定負債		
退職給付に係る負債	25,738	26,798
資産除去債務	—	27,000
その他	582	—
固定負債合計	26,320	53,798
負債合計	837,670	782,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,187,909	1,190,514
資本剰余金	1,842,939	1,845,544
利益剰余金	534,801	445,965
自己株式	△4,212	△4,212
株主資本合計	3,561,438	3,477,811
新株予約権	8,348	5,831
非支配株主持分	7,174	9,610
純資産合計	3,576,961	3,493,253
負債純資産合計	4,414,632	4,275,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,561,272	5,647,156
売上原価	1,347,014	2,047,937
売上総利益	3,214,258	3,599,218
販売費及び一般管理費	3,108,748	3,629,662
営業利益又は営業損失(△)	105,510	△30,443
営業外収益		
受取利息	6,900	1,377
その他	2,468	3,140
営業外収益合計	9,368	4,517
営業外費用		
支払利息	753	295
持分法による投資損失	26,824	21,458
為替差損	3,921	—
その他	506	740
営業外費用合計	32,006	22,494
経常利益又は経常損失(△)	82,873	△48,420
特別利益		
新株予約権戻入益	—	940
特別利益合計	—	940
特別損失		
減損損失	18,576	—
固定資産除却損	5,122	4,945
本社移転費用	—	3,787
情報セキュリティ対策費	—	4,971
特別損失合計	23,698	13,704
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	59,174	△61,184
法人税、住民税及び事業税	13,560	23,304
法人税等調整額	△5,531	△18,296
法人税等合計	8,029	5,007
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,145	△66,191
非支配株主に帰属する四半期純利益	149	2,435
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	50,995	△68,627



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,145	△66,191
四半期包括利益	51,145	△66,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,995	△68,627
非支配株主に係る四半期包括利益	149	2,435

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,652,891	2,908,381	4,561,272	—	4,561,272
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,565	7,257	11,822	△11,822	—
計	1,657,456	2,915,638	4,573,095	△11,822	4,561,272
セグメント利益	136,081	22,409	158,491	△52,980	105,510

(注) 1. セグメント利益の調整額△52,980千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△52,980千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,963,755	3,683,401	5,647,156	—	5,647,156
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,691	10,313	32,005	△32,005	—
計	1,985,447	3,693,714	5,679,161	△32,005	5,647,156
セグメント利益又は損 失(△)	227,555	△159,196	68,359	△98,802	△30,443

(注) 1. セグメント利益の調整額△98,802千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,802千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

昨今の当社グループにおける事業の多角化及びグループ会社の増加に伴い、当社は平成27年6月に本社を移転し、グループ会社の拠点集約を行いました。これを機に、今後更なるグループ経営の推進に取り組んでまいります。事業構造やビジネスモデルごとに区分した経営情報の開示を行うことが適切と判断し、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を従来の「メディアビジネス」1区分から、「マーケティングソリューション」「コンシューマサービス」の2区分に変更しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。